

日米投信概況

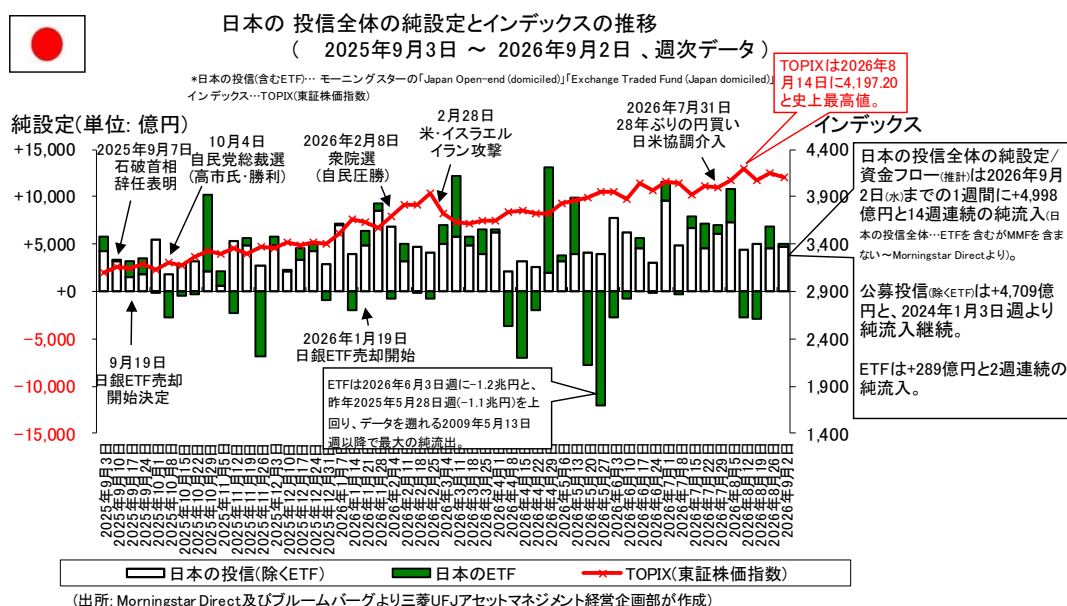
日米で日本株や金などに純流入、米国で米短期国債純流入1位、米中長期国債純流出1位！～ベッセント財務長官の長期金利の上昇を抑える為の国債管理戦略「ベッセントツイスト」～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト)
窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本では日本株や金(ゴールド)など商品に純流入、インド株は純流出のまま……………p.1
- 米国では日本株や金(ゴールド)など商品に純流入、インド株は純流出から純流入へ
米短期国債純流入1位、米中長期国債純流出1位！～ベッセント財務長官の長期金利の上昇を抑える為の国債管理戦略「ベッセントツイスト」～……………p.4

●日本では日本株や金(ゴールド)など商品に純流入、インド株は純流出のまま

日本籍投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年9月2日(水)までの1週間に+4,998億円と14週連続の純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Direct)。公募投信(除くETF)は+4,709億円と、2024年1月3日週より純流入継続。ETFは+289億円と2週連続の純流入。



公募投信(除くETF)の2026年9月2日週の純設定額+4,709億円について分類別に見る。
純流入1～3位は、グローバル株、グローバル株-日本を除く、日本株大型ブレンド。
純流出1～3位は、インド株、グローバル・特定テーマ/セクター株、日本債-公社債。

日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)
 *ETF・MMFを含まない。週次推計のため、月次のものとは異なる。

2026-09-02現在

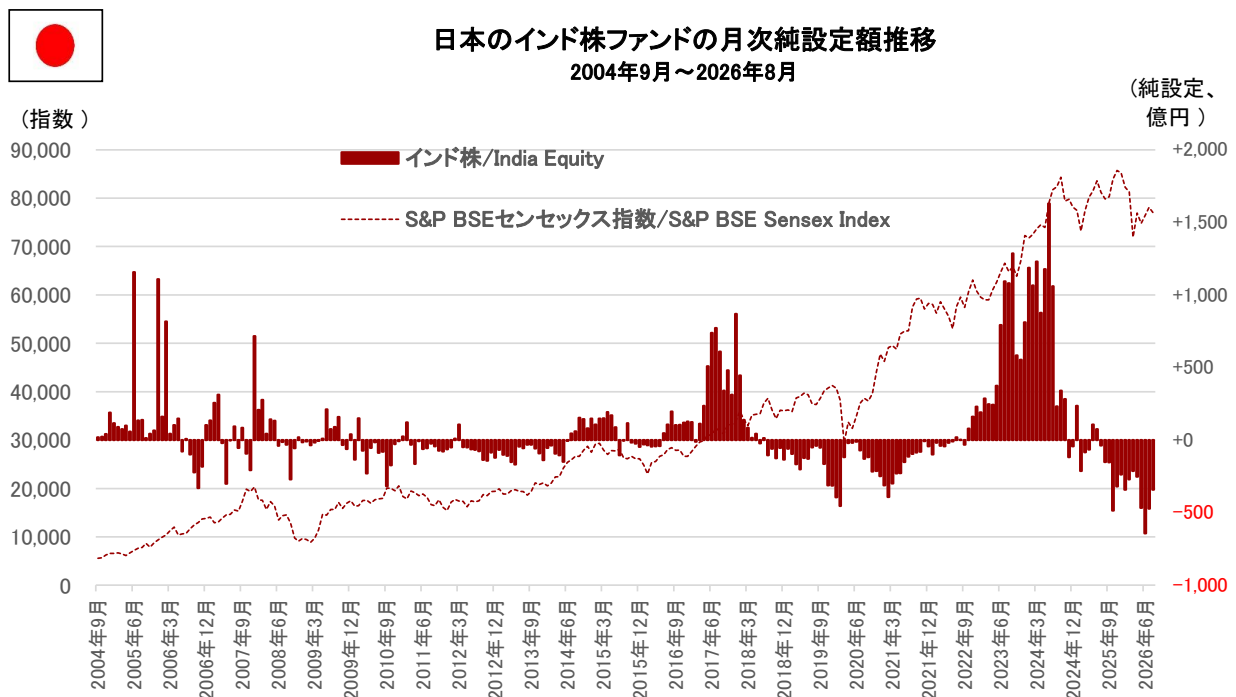
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+147,028	+185,468	+749,538	37,252,056	グローバル株
2	World ex-Japan Equity	+71,368	+47,981	+190,122	20,710,274	グローバル株-日本を除く
3	Japan Large-Cap Blend Equity	+56,504	+34,667	+153,691	11,086,081	日本株大型ブレンド
4	US Equity	+49,111	+47,315	+321,850	38,373,589	米国株
5	Sector Equity Technology	+25,933	+22,879	+98,777	12,741,529	テクノロジー株
6	Moderately Aggressive Allocation	+20,867	+17,529	+73,777	7,311,376	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	Japan Large-Cap Growth Equity	+15,370	+56,889	+41,992	9,476,278	日本株大型グロース
8	Japan Large-Cap Value Equity	+15,228	+11,423	+41,190	3,017,381	日本株大型バリュー
9	Moderate Allocation	+15,207	+8,033	+40,880	5,238,762	モデレート・アセットアロケーション
10	Japan Bond - Long/Intermediate	+10,656	+7,151	+43,139	4,527,575	日本債-中長期
13	Commodity	+8,014	+4,332	+48,866	3,743,694	商品
14	Japan Specialty Equity	+7,756	+3,488	+13,680	902,372	日本・特定テーマ/セクター株
20	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+2,902	+2,073	+9,582	2,059,030	日本株中小型バリュー
27	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+1,073	+1,162	+23,272	521,965	日本株中小型株ブレンド
76	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-1,256	-1,494	-7,207	1,085,775	日本株中小型株グロース
77	Country/Region Specific Bond	-1,566	-1,384	-4,073	439,163	単一国/地域債(インド債、ブラジル債など)
78	Japan REIT	-1,691	-775	+3,973	2,147,061	日本REIT
79	Trading - Leveraged/Inverse	-1,757	+16,551	-19,962	872,677	トレーディング・レバレッジド/インバース
80	US Equity - JPY Hedged	-1,800	-3,064	-10,831	494,455	米国株-円ヘッジ
81	US REIT	-2,830	-3,606	-18,207	2,234,139	米国REIT
82	Other Allocation	-3,033	-3,198	-7,758	785,514	その他アロケーション
83	Japan Bond - Bond IT	-4,484	+12,615	+2,110	455,420	日本債-公社債
84	World Specialty Equity	-5,353	-6,480	-10,071	6,112,065	グローバル・特定テーマ/セクター株
85	India Equity	-8,380	-10,211	-33,208	2,343,744	インド株
	全85分類の合計	+470,940	+459,724	+1,889,832	210,227,636	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-0.69	+2.46	+0.90		
	S&P500	-0.10	-0.39	-0.64		
	MSCI ワールド	-0.54	-0.04	-0.63		

(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

インド株は2026年4月8日週から22週連続純流出(2025年7月23日週から純流出傾向、純流入は2026年1月7日と2026年4月1日の2回)。
月次では2026年8月に-342億円と全分類中最大の純流出で2025年7月から1年2か月連続純流出(2026年6月の-642億円が過去最大の純流出、2024年6月の+1,631億円が過去最大の純流入)。
 イラン・イスラエル情勢による原油価格の高止まり、AI関連需要を背景とした韓国・台湾株式市場へのマネーシフトが要因(2026年7月21日付投信調査レポートNo.460「日本でインド株ファンドがゴールド等コモディティファンドと共に

大きな純流出! 米国では米国株やセクター株が流出に転じる一方、外国株とオルタナティブの純流入が加速傾向! ~ https://www.am.mufg.jp/report/insights/report_260721.pdf | 〇



(出所: Morningstar Direct、ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

日本株は2026年9月2日週に+976億円と2週連続純流入 (←2026年8月26日週+1,082億円←8月19日週-8億円と2026年6月17日週以

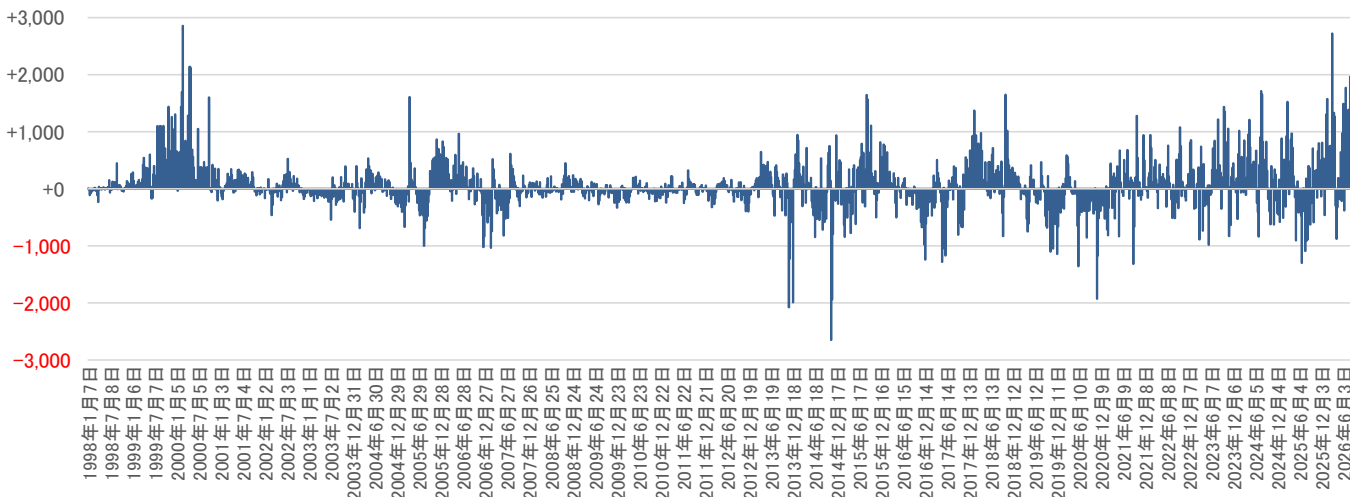
来9週ぶりの純流出←8月12日週+712億円←8月5日週+1,962億円(世界の日本株投資については、2026年8月3日付投信調査レポートNo.461「日本株を買う外国人投資家～世界のファンド投資家の日本株投資

動向:米欧のグローバルETFや米国の日本株ETFが買い、日本の日本株ETFが売る～」～ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_200603.pdf)o



(単位:億円)
+4,000

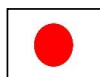
日本の日本株ファンド(除くETF)の週次純設定額推移 1998年1月7日～2026年8月19日



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

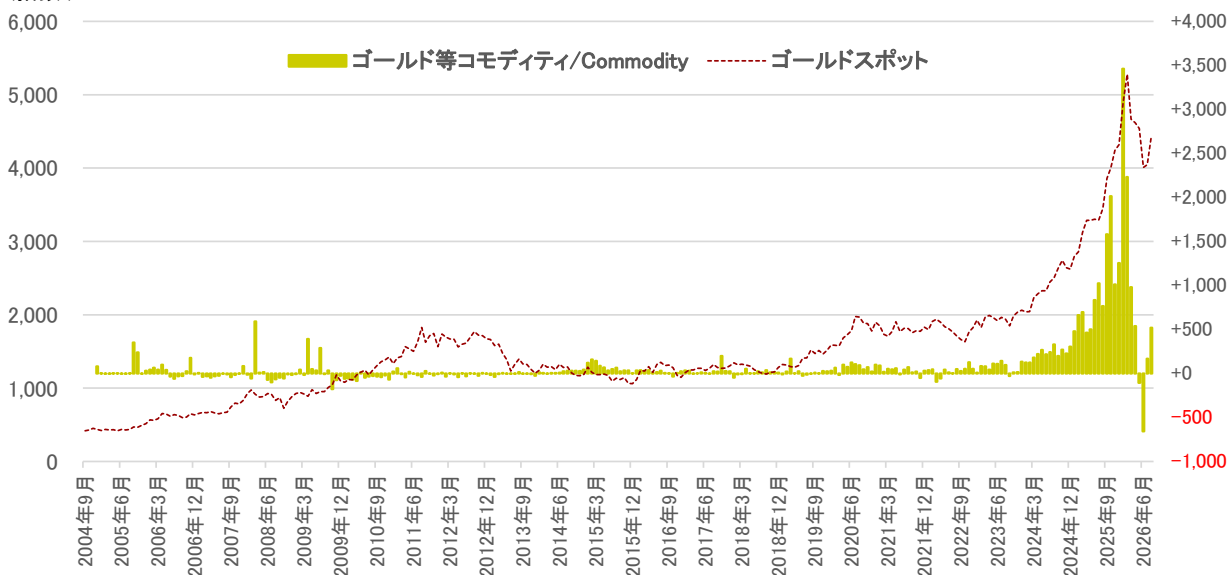
金(ゴールド)など商品は2026年9月2日週に+80億円と9週連続の純流入へ転換。 2026年5月中旬から6月にかけての純流出から反転、2026年8月12日週に+263億円と2026年4月1日週以来の大きな純流入となっている(世界の金投資につい

ては、2026年8月24日付投信調査レポートNo.462「日本と米国で金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている!～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向～」～ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_200604.pdf)o



(指数)

日本の金(ゴールド)など商品ファンドの月次純設定額推移 2004年9月～2026年8月

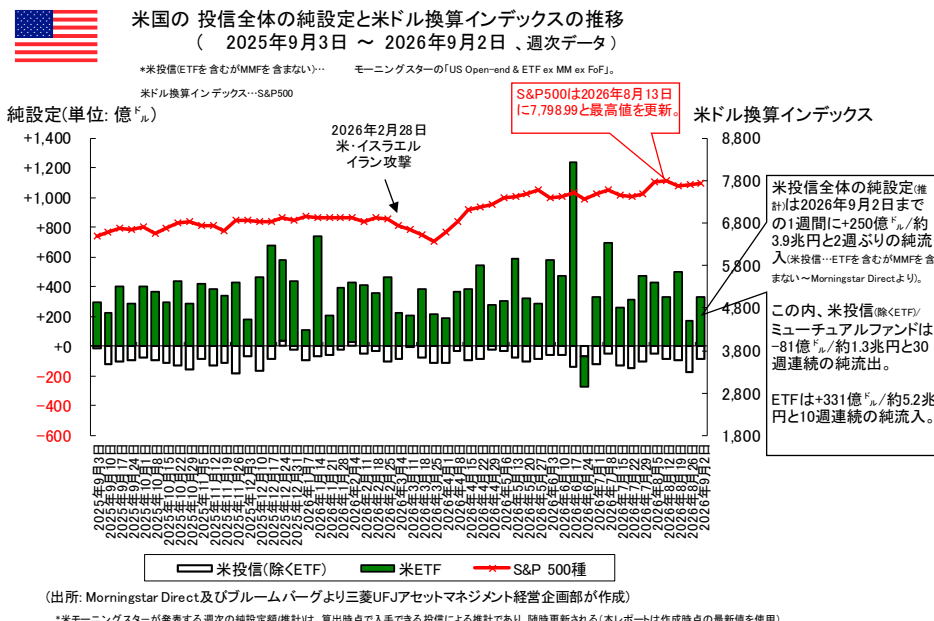


(出所: Morningstar Direct、ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

●米国では日本株や金(ゴールド)など商品に純流入、インド株は純流出から純流入へ 米短期国債純流入1位、米中長期国債純流出1位！～ベッセント財務長官の 長期金利の上昇を抑える為の国債管理戦略「ベッセントツイスト」～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年9月2日までの1週間に+250億ドル/約3.9兆円と2週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-81億ドル/約1.3兆円と30週連続の純流出。一方、ETFは+331億ドル/約5.2兆円と10週連続の純流入(継続的なミューチュアルファンド

の純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.asi.mof.go.jp/report/investigate/column_231127.pdf)



2026年9月2日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は米国短期国債、米国超短期債、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)。

純流出1～3位は、米國中長期国債(4-6年)、米国大型グロース株、金融株。

米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2026-09-02現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

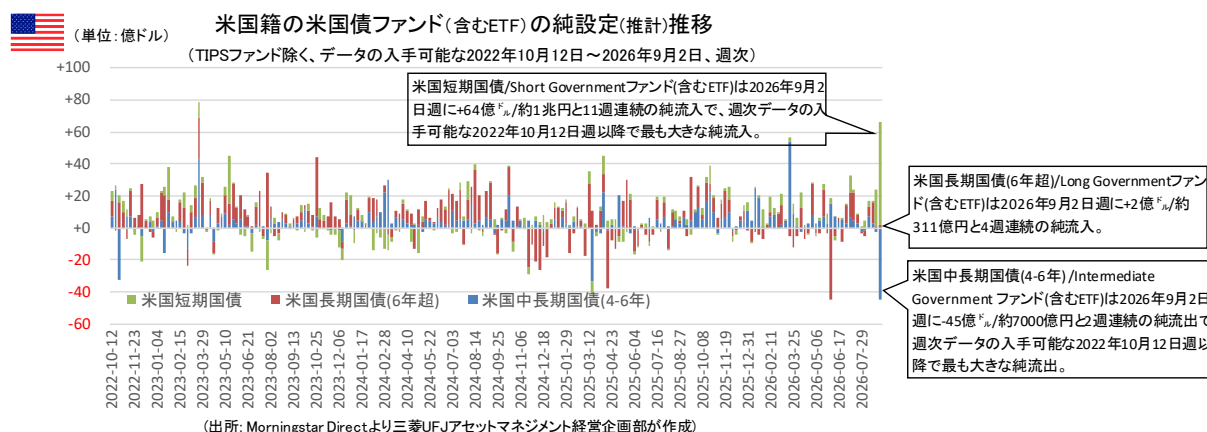
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	Short Government	+6,413	+2,329	+9,146	96,819	米国短期国債
2	Ultrasort Bond	+3,797	+3,127	+13,886	541,541	米国超短期債
3	Large Blend	+3,026	-16,867	+1,080	6,216,885	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
4	Commodities Focused	+2,346	+3,417	+10,028	319,554	商品・フォカス
5	Intermediate Core Bond	+2,209	+326	+5,759	780,628	米國中長期コア債
6	Foreign Large Blend	+2,089	+1,218	+6,065	1,685,054	外国大型ブレンド株
7	Derivative Income	+1,961	+1,375	+5,565	208,568	デリバティブ・インカム
8	Large Value	+1,652	-76	+2,510	1,794,249	米国大型バリュー株
9	Short-Term Bond	+1,379	-268	+2,557	383,513	米国短期債
10	Mid-Cap Blend	+1,184	+1,390	+4,023	536,898	米国中型ブレンド株
30	Japan Stock	+277	+72	+889	59,365	日本株
37	Long Government	+199	+104	+2,244	142,351	米国長期国債(6年超)
49	India Equity	+97	-74	+105	14,102	インド株
112	Small Value	-551	+327	+524	289,950	米国小型バリュー株
113	Small Growth	-584	+218	-1,194	201,287	米国小型グロース株
114	Equity Precious Metals	-607	-12	+18	78,403	貴金属株
115	Industrials	-703	-116	-623	101,152	農業・インフラ・輸送等
116	Mid-Cap Growth	-955	-1,469	-4,387	300,211	米国中型グロース株
117	Corporate Bond	-1,169	+402	+1,655	210,129	社債
118	Technology	-1,281	+1,885	-3,260	703,965	米国テクノロジー株
119	Financial	-1,323	-1,429	-5,356	104,367	金融株
120	Large Growth	-1,366	-5,321	+5,197	2,343,166	米国大型グロース株
121	Intermediate Government	-4,462	-216	-3,712	148,897	米國中長期国債(4-6年)
全121分類の合計		+24,978	-269	+88,952	25,254,019	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-0.69	+2.46	+0.90		
S&P500		-0.10	-0.39	-0.64		
MSCI ワールド		-0.54	-0.04	-0.63		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

日本株は2026年9月2日週に+2.8億ドル/約432億円と6週連続純流入(←8月26日週+0.7億ドル←8月19日週+1.7億ドル←2026年8月12日週+3.7億ドル←8月5日週+0.4億ドル←7月29日週+3.9億ドル←2026年6月17日週以来の大きな純流入)。 **米国株は2026年9月2日週に+16億ドル/約2,500億円と小幅ながら2週ぶり純流入**(←8月26日週-224億ドル←8月19日週+232億ドルと2か月ぶりの大きな純流入←2026年8月12日週+3.3億ドル)。日本でも純流入が続く**商品/Commodityは米国でも純流入**。金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」は2026年9月2日週に+23億ドル/約3,700億円と5週連続の純流入。2026年4月中旬から7月にかけての純流出から反転、2026年8月26日週+34億ドル/約5,471億円と2026年2月25日週(+47億ドル)以来の大きな純流入。**インド株も純流出から反転して純流入**。

2026年9月2日週に米短期国債が純流入1位で米中長期国債(4-6年)が純流出1位、米長期国債(6年超)は4週連続純流入。米短期国債/Short Governmentファンド(含むETF)が2026年9月2日週に+64億ドル/約1兆円と11週連続の純流入、週次データの入手可能な2022年10月12日週以降で最も大きな純流入(ETFが牽引)。米中長期国債(4-6年)/Intermediate Governmentファンド(含むETF)は2026年9月2日週に-45億ドル/約7000億円と2週連続の純流出で週次データの入手可能な2022年10月12日週以降で最も大きな純流出(ETFが牽引)。米長期国債(6年超)/Long Governmentファンド(含むETF)は2026年9月2日週に+2億ドル/約311億円と4週連続の純流入(ETFが牽引)。



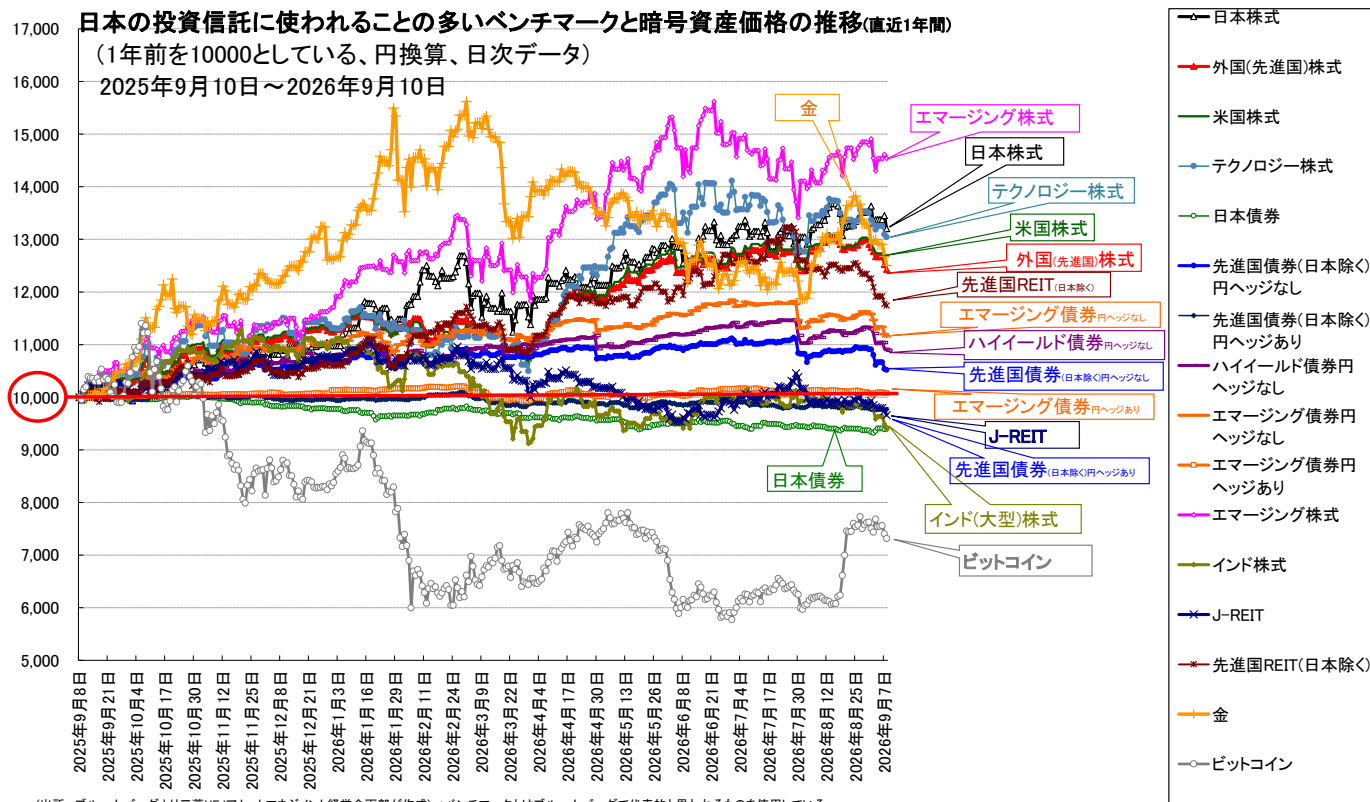
米国では、2026年9月1日に米10年国債利回りが4.8%と2023年10月31日以来3年弱ぶりの高さ(←2026年1月2日4.2%、2023年10月19日に4.99%と2007年7月19日以来の高さ)、2026年9月1日および2026年8月17日などに米30年国債利回りが5.3%と2007年6月12日以来約19年ぶりの高さとなり(←2026年1月2日4.9%)、米財務省は2026年8月19日に予想外の**10～30年国債の買い戻し枠上限(1件当たり)を20億ドルから2倍以上の40億ドル以上へ拡大**すると発表した(2026年9月9日から、2026年8月

19日付U.S. Department of the Treasury「Treasury Announces Increased Sizes of Nominal Long-End Liquidity Support Buybacks Beginning September 9」～ <https://home.treasury.gov/news/press-releases/480097> 〇

スコット・ベッセント/Scott Bessent財務長官が長期金利の上昇を抑える為の国債管理戦略「**ベッセントツイスト/Bessent Twist(財務省版ツイスト/The Treasury Twist)**」だ(2026年9月10日付投信調査コラムNo.450「世界の国債ファンド(含む物価連動国債/TIPS&インフレ連動債/IPSファンド)～日本の国債NISA法案&個人向け国債をNISAの対象にする税制改正要望、英国のトラスショックと米国のベッセントツイストと日本の骨太ショック～」～ <https://www.am.mufj.co.jp/report/investgate/> 〇。米連邦準備制度理事会/Federal Reserve Board /FRBが長期金利の抑制を狙って1961年に導入した短期国債を売却し、長期国債を購入することで、長短金利を逆方向に導く金融政策の手法で、オペレーションツイスト/Operation Twist(ツイストオペ)と呼ぶもの(1975年5月13日付Federal Reserve Board「Expanded Desk Buying of Coupon Issues」～ <https://www.federalreserve.gov/monetarypolicy/files/FOMC19750513Memorandum.pdf> の米財務省版である。

昨日2026年9月9日、米財務省は最大60億ドル/約9,200億円の長期国債を買い入れると発表した(2026年9月9日付U.S. Treasury

Fiscal Data「Treasury Securities Buybacks」～ <https://fiscaldata.treasury.gov/datasets/treasury-securities-buybacks-buybacks-operations> 〇



以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会